

がん対策研修について

がん対策研修について

国立がんセンターがん対策情報センターにおいては、がん対策推進基本計画を踏まえ、次のがん医療に携わる専門的人材の養成に関する研修等を、特に、がん診療連携拠点病院等における医療の均てん化に資することを目的として、また、連携協力の一環として実施しているところ。

是非貴施設職員をこれら研修の受講に対し、積極的に派遣願いたい。

○ 放射線治療計画に関する研修（募集要項別紙）

平成 18 年度に引き続き、本年も 7 月、9 月及び 11 月に実施する予定。

○ がん化学療法医療チーム等の人材養成にかかる研修（募集要項案別紙）

平成 18 年度に引き続き、本年は 9 月及び 3 月に実施する予定。

○ がん看護に関する研修（募集要項別紙）

従来実施してきた内容をさらに向上させ、より専門性を高めた研修を実施し、がん看護に関わる指導者を育成するための研修を実施する予定。

○ 相談支援センター相談員講習会（募集要項別紙）

相談支援センター相談員講習会支援を関係機関と連携し、実施しているところ。本年は東京のみならず、受講者の利便を考慮し、大阪（6月に実施済み）、愛媛（7月）及び北海道（7月）でも開催する予定。

○ レジデント・がん専門修練医・薬剤師レジデント

引き続きレジデント等研修を実施し、専門的知識と技術を有する医師・薬剤師の育成に努めているところ。また、新たな試みとしてレジデントに準ずる身分で、長期間の研修が困難な医師を対象とした短期間の研修制度を検討中。

○ がん登録に関する研修

平成 18 年度に引き続き、国立がんセンターにおける 5 日間の研修を 8 月及び 1 月に実施するとともに、全国 7 ブロックで前・後期各 2 日間（計 4 日間）の研修を 11～12 月（前期）と 2 月（後期）に開催予定。

研修名		対象	研修期間・人数	研修の目的・概要	運営予定
医師・技師など	放射線治療計画	放射線治療技師など	1回6人	高度化した放射線治療・放射線腫瘍学を最新の放射線治療計画装置の活用と豊富な臨床例を通じて、放射線治療計画作成にかかる知識・技術を習得すること。	7/30-8/3、9/10-9/14、11/12-11/16
	がん化学療法チーム養成	医師、薬剤師、看護師を1チームとして参加	講義(2日) 1回60人	医師・看護師・薬剤師からなる医療チーム養成を目的とした必要な事項を講義およびグループ討議を通じて習得すること。主に外来化学療法チーム育成を目指す研修内容。	9/27-9/28、 3月予定で調整中
	短期がん専門研修(仮称)	医師	6ヶ月 年間10~20人	レジデントに準ずる身分で、がんセンターにおける医師研修の門戸を広げる。長期間の研修が困難な医師を対象として専門的ながん研修を行う。	調整中
薬剤師	がん専門薬剤師	薬剤師	1回3ヶ月 年間3回	がん専門薬剤師を養成することにより、がん医療水準の均てん化を推進する。本研修は、国からの補助金を受けて、日本病院薬剤師会が主催している。	5月、9月、1月で予定
看護師	がん診療に従事する看護師研修	看護師	がん化学療法看護コース 講義1回(35人) 実地2回(計16人) 造血幹細胞移植看護コース 実地2回(計4人)	がん診療に従事する看護師に対し、高度で専門的な知識および技術を習得させ、がん看護実践の充実を図る。	がん化学療法看護コース 講義(10/2-5)、実地(10/9-12/28、1/7-3/28) 造血幹細胞移植看護コース 実地(10/9-12/28、1/7-3/28)
	がん看護研修企画・指導者研修	看護師	年間2回 1回70人	がん看護研修を各都道府県において円滑かつ効果的に実施されるべく、がん看護に関わる指導者を育成すること。	7/31-8/1、11/27-11/28
相談員	相談支援センター 相談員講習会	相談員	講義・グループ討議 1回40人	相談員が情報交換・問題点の共有ができること、相談員同士の連携体制の基盤を作ること。	大阪(6/10)、愛媛(7/8)、北海道(7/22)
がん登録実務者	計画研修	がん登録実務 初級者	年間2回 各5日間 1回70人程度	がん登録実務者の初級者研修(地域がん登録実務者も受け入れる)	8/27-31、1/21-25
	ブロック研修	院内がん登録実務 初級者	前・後期 各2日間 通年で受講 年間500人程度	院内がん登録実務者の初級者研修。全国7ブロックにおいて統一プログラムを用いて開催。	前期11月、後期2月
	指導者研修	院内がん登録実務 指導者	前・後期 各2日間 通年で受講 年間20人程度	院内がん登録実務指導者の育成。各ブロックから2~3人を対象。	具体的時期を検討中
	E-learning	がん登録関係者	通算1000人程度	ブロック研修会に準じた内容で開始し、中級者レベルへ拡張	従来の講義ビデオを基に7月から運用開始予定。新規コンテンツは1~3月の作成を目指す
	見学研修	がん登録関係者	月1回(第3金曜日・半日) 年間200人程度	院内がん登録の実務体制の見学	6/18、7/20、9/21、10/12、11/16、12/21、 1/18、2/15、3/21
	行政担当者向け地域がん登録実務者研修	行政担当者	年1回5月~6月 70人程度	地域がん登録を活用した事業の企画支援。全国の都道府県のがん対策・がん登録担当課職員。	7月予定で調整中

平成19年度 放射線治療計画にかかる研修 募集要項

1 開催時期

- 第1回 平成19年7月30日(月)～8月3日(金)
- 第2回 平成19年9月10日(月)～9月14日(金)
- 第3回 平成19年11月12日(月)～11月16日(金)

2 開催場所

国立がんセンター 中央病院 (〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1)

3 対象者

対象者は、以下のいずれかに該当する者とし、1回の研修につき6人までとする。

- (1) 原則としてがん診療連携拠点病院に在籍し、放射線治療に従事する診療放射線技師等
- (2) がん診療連携拠点病院以外であって、既に放射線治療の実績がある医療機関に在籍し、放射線治療に従事する診療放射線技師等
- (3) その他、放射線治療にかかる教育関係者

※ 応募者多数の場合については、(1)のがん診療連携拠点病院や、経験者を優先するなど、調整を行う予定である。

※ 本研修において、医師は対象者としない。

4 研修内容等

別紙のとおり。

5 研修申込方法等

(1) 研修申込方法

所定の研修申請様式(様式1)に所要の事項を記入し、研修希望者の上司の推薦書(様式2)、研修希望者の受講希望理由書(様式3)、研修希望者の履歴書(要写真貼付)、職種免許書の写又はこれに代わる証明書を添えて、国立がんセンターがん対策情報センターがん対策企画課宛に郵送で申し込む。

(2) 研修申込期限

平成19年7月3日(火) 必着(開催回にかかわらず)

7 経費等

受講料は無料とするが、その他、旅費等は受講者側の負担とする。

また、研修期間中に宿泊関連施設の利用については、国立がんセンターで調整する場合がある。(研修受講に宿泊を要すると判断される場合に限る。)

8 問い合わせ先

国立がんセンターがん対策情報センターがん対策企画課推進係

Tel 03-3542-2511 (内線 2245) Fax 03-3542-2545

※ 研修内容等については、放射線治療部からの回答となる場合がある。

平成 19 年度 放射線治療計画にかかる研修について

研修目的及び研修内容

- (1) 放射線治療に携わる診療放射線技師等に対して、高度化した放射線治療・放射線腫瘍学を最新の放射線治療計画装置の活用と豊富な臨床例を通じて、放射線治療計画作成にかかる知識・技術を習得する。
- (2) 我が国で多く用いられている 3 機種 of 放射線治療計画システム (RTPS) を用い、各装置での放射線治療計画の手順、放射線治療計画の解釈と放射線治療機器への適用までの手順、確認と検証などについて研修する。また、国立がんセンター中央病院における臨床例について放射線治療計画の実施、適用と検証を臨床現場において研修する。

(診療放射線技師等の研修事項)

放射線治療計画装置 (RTPS) の受入試験から治療実施まで

- CT 解剖学、その概説、放射線治療への適用とピットフォール
- 異なるアルゴリズムを用いた演算と結果の検証
- エラーへの対処法 (簡単に出来る修理とそうでない場合との区別) など

	第一日 月	第二日 火	第三日 水	第四日 木	第五日 金
AM	開講式	IMRT の実際	使用時 (導入時) の 問題点 受入試験加速装置と の整合性テストと データ収集	DD システムによる 解析法 (フィルム)	RTPS 作成 プラン比較
	ガイダンス 放射線腫瘍学 ICRU50/62 解説		定位放射線治療の 実際		
PM	不均質補正の 考え方	RTPS 装置の基礎	各 RTPS 取扱の実際 ★検証実習 (フィルム)	修了式	
		CT 電子密度実測			

※ 研修スケジュールは変更される可能性があります。

平成19年度 第1回 がん化学療法医療チーム養成にかかる研修(案)

1. 開催期間 平成19年9月27日(木)～9月28日(金)
2. 開催場所 国立がんセンター中央病院
3. 対象者
対象者は、以下のすべてに該当するものとする。
 - (1) 3年以上の臨床経験を有する医療者(医師、薬剤師および看護師)。各職種20人を目途とし、最大60人までとする。
 - (2) がん化学療法にかかる業務に従事している者。
 - (3) がん化学療法にかかる教育を行っている者。
 - (4) 所属施設において、外来化学療法の立ち上げ、または充実を図ろうとしている者。
 - (5) 所属施設において、がん化学療法や外来化学療法についての提言ができる者。※チーム(医師、薬剤師および看護師)での参加を原則とする。
※応募者多数の場合は、がん診療連携拠点病院、外来化学療法実績、または本研修の未受講施設を優先するなどの調整を行う。
4. 研修内容 別紙のとおり。
5. 申し込み方法
 - (1) 申し込み方法
 - ・ 所定の各様式(申請書(様式1)、推薦書(様式2)、受講希望理由書(様式3)、アンケート(様式3-1))に所要事項を記入し、履歴書(市販の様式で可。要写真貼付)、および各職種免許証の写(A4版に縮小)を添えて、国立がんセンターがん対策情報センターがん対策企画課宛に郵送にて申し込む。
 - ・ 様式1は、該当する箇所に受講希望者を記入し、一施設一枚の提出でよい。
 - ・ 様式2は、受講希望者一人に一枚の提出とする。
 - ・ 様式3は、受講希望者が個々に記入し、一人一枚の提出とする。
 - (2) 申し込み期限
平成19年7月17日(火) 17時までに必着
6. 経費
受講料は無料とするが、その他、旅費等は受講者側の負担とする。
7. 研修修了証書
受講者には、研修修了証書を交付する。
8. 郵送及び問い合わせ先
国立がんセンターがん対策情報センターがん対策企画課
〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1
電話：03-3542-2511(内線：3533)
FAX：03-3542-2545
9. その他
受講の可否については、施設長宛に文書にて通知する。

平成19年度 第1回 がん化学療法医療チーム養成にかかる研修

1. 研修目的

- 1) 医療チーム（医師、薬剤師および看護師）における、外来化学療法に関する最新の知識、技術およびその運用システムについて、講義、見学および討議を通して習得する。
- 2) 1)を通して、他職種についての理解を深め、医療チーム構築の一助とする。
- 3) これらを通して学んだものを、所属施設と地域の医療のレベル向上に寄与し、がん医療均てん化の一助とする。

2. 研修目標

- 1) 外来化学療法に関する基礎知識および考え方、情報活用方法について理解する。
- 2) 外来化学療法について新たに学んだ知識や既存の知識を実践と結びつけて考える。
- 3) 外来化学療法の臨床実践およびチーム医療における自施設や自己の課題を認識する。
- 4) 外来化学療法の臨床実践およびチーム医療における自施設や自己の課題に対する解決策や具体策を考える。

3. 研修日程

9:00-10:00	開講式	講義 ⑥
	講義 ①	
10:00-11:00	講義 ②	講義 ⑦
11:00-12:00	講義 ③	グループ討議
12:00-13:00	昼休み	昼休み
13:00-14:00	講義 ④	グループ討議
14:00-15:00	講義 ⑤	総合討論
15:00-16:00	病院内見学	閉講式

＜講義内容＞

講義①：「わが国のがん対策について」

講義②：「がん化学療法における看護師の役割」

講義③：「外来化学療法における薬剤管理指導」

講義④：「確実・安全・安楽な抗がん剤の投与管理」

講義⑤：「がん化学療法とレジメン管理」

講義⑥：「医療経済の観点からみた外来化学療法」

講義⑦：「外来化学療法に必要な設備と組織：国立がんセンター中央病院を例として」

＜グループ討議・総合討論＞

テーマ：「外来化学療法医療チーム構築にかかる問題点と解決に向けたアクション」

- 時間や、講義の内容は変更される場合があります。

平成19年度 がん看護研修企画・指導者研修

1. 開催期間 第1回 平成19年7月31日(火)～8月1日(水)
第2回 平成19年11月27日(火)～28日(水)
2. 開催場所 国立がんセンター中央病院
3. 対象者
対象者は以下のいずれかに該当する者とし、1回最大70名とする。
 - 1) 各都道府県「がん看護研修」企画担当者
 - 2) 都道府県および地域がん診療連携拠点病院で「がん看護研修」企画・実施を実際に担当する者(看護職)
 - 3) 平成18年度に「がん看護研修」を企画・実施した施設の担当者
 - ※ 都道府県側担当者と研修実施施設の担当者が同行して参加することが望ましいが、個別の応募も可能とする
 - ※ 応募者多数の場合は、がん診療連携拠点病院を優先する。また、実際の研修予定時期等に応じて調整する
 - ※ 第1回においては、平成19年度後半期に研修を実施(予定)し、平成20年度第1回(前半期)研修で実施報告することが可能な施設が望ましい
 - ※ 第2回においては、平成20年度前半期に研修を実施(予定)し、平成20年度第2回(後半期)研修で実施報告することが可能な施設が望ましい
4. 研修内容 別紙のとおり
5. 申込方法
 - 1) 所定の様式(申請書(様式1)、推薦書(様式2)、受講希望理由書(様式3)、アンケート))に所要事項を記入し、履歴書(市販の様式で可。要写真貼付)及び看護師免許証の写(A4版に縮小のこと)を添えて、国立がんセンターがん対策情報センターがん対策企画課宛に郵送にて申し込む。
 - 2) 施設での受講希望者が複数にわたる場合、様式1および様式2、アンケートにおいては、該当する箇所に受講希望者を記入し、一施設一枚の提出でよい。
 - 3) 様式3は、参加受講者が個々に記入し、一人一枚の提出とする。
6. 申込期限
第1回 平成19年6月22日(金) 必着
第2回 平成19年10月19日(金) 必着
7. 経費
受講料は無料とするが、その他、旅費等は受講者側の負担とする。

8. 研修修了証書

受講者には、研修修了証書を交付する。

9. 郵送及び問合せ先

国立がんセンターがん対策情報センターがん対策企画課（担当：白井）

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1

電話：03-3542-2511（内線：3533）FAX：03-3542-2545

10. その他

受講の可否については、施設長宛に文書にて通知する。

平成19年度 がん看護研修企画・指導者研修

1. 目的

看護師を対象としたがん医療およびがん看護に関する研修（以下「がん看護研修」とする）が、各都道府県において地域格差なく、円滑かつ効果的、継続的に実施されることにより、がん医療均てん化の一助とする。

2. 目標

- 1) がん対策における都道府県及び地域がん診療連携拠点病院の責務を認識する
- 2) がん医療の均てん化のための「がん看護研修」の目的や意義を理解する
- 3) 推奨されるがん看護研修プログラムの内容を理解する
- 4) 「がん看護研修」の企画・実施に関する課題と解決策について検討する

3. 研修内容

1) 講義

- (1) がん対策と都道府県及び地域がん診療連携拠点病院の役割
- (2) がん医療の均てん化における「がん看護研修」の目的・意義
- (3) 推奨されるがん看護研修プログラム（日本がん看護学会推奨案）の構成と内容
- (4) 平成18年度「がん看護研修」実施施設からの実施報告

2) グループワーク

- (1) 「がん看護研修」の企画・実施に関する課題と解決策について、都道府県ごと、あるいは地域ブロックごとで討議する
- (2) 推奨されるプログラムに都道府県ごとの現状を照らし合わせ、企画・実施に向けての調整事項を明確にする
- (3) グループワークの内容をまとめ、今後の課題や解決策を全体で討議・共有する
- (4) グループにはファシリテーター・助言者となる者を配置する
- (5) ファシリテーター・助言者は、がん看護専門看護師とする

3) 研修日程（予定）

	1日目（7/31・11/27）	2日目（8/1・11/28）
9:00～10:30	開講式 講義①	研修実施報告
10:40～12:10	講義②	グループワーク
13:30～15:00	講義③	グループワーク
15:10～16:40	研修実施報告	発表・総合討論 閉講式

平成19年度 相談支援センター 相談員講習会 募集要項

1 開催日時

- 第1回 平成19年6月10日(日) 定員 40名
- 第2回 平成19年7月8日(日) 定員 40名
- 第3回 平成19年7月22日(日) 定員 40名

2 開催場所

- 第1回 大阪府立健康科学センター
(地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター隣)
- 第2回 独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター
- 第3回 独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター

3 講習対象者

対象者は、以下のいずれかに該当する者とする。

- (1) がん診療連携拠点病院の相談支援機能を有する部門の相談に従事する者
- (2) 都道府県として、今後、がん診療連携拠点病院に推薦する予定の医療機関の相談支援機能を有する部門の相談に従事する者

※ 原則として、受講者は一医療機関一人とする。また、応募者多数の場合は、上記(1)に該当する者及び平成18年度第2回本講習会において不承認の者等を優先する。

4 講習内容

別紙のとおり。(平成18年度第2回相談員講習会と同じ内容)

5 応募方法等

- (1) 申込み先 国立がんセンターがん対策情報センターがん対策企画課
- (2) 応募方法 所定の申込用紙に必要事項を記入の上、申込み先にFAXにて申し込む。
FAX番号 03-3542-2545

6 応募期限

平成19年5月18日(金) 12時 必着

7 経費等

受講料は無料とするが、その他、旅費等は受講者側の負担とする。また、宿泊施設については、国立がんセンター及び開催施設では斡旋しない。

8 その他

受講の可否については、FAX又は文書にてお知らせいたします。

9 問い合わせ先

国立がんセンターがん対策情報センターがん対策企画課 研修推進室
東京都中央区築地5-1-1
TEL 03-3542-2511(内線3533) FAX 03-3542-2545

平成19年度 相談支援センター 相談員講習会

1 開催日時

- 第1回 平成19年6月10日(日) 定員 40名
- 第2回 平成19年7月8日(日) 定員 40名
- 第3回 平成19年7月22日(日) 定員 40名

2 開催場所

- 第1回 大阪府立健康科学センター
(地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター隣)
- 第2回 独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター
- 第3回 独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター

3 講習内容(予定)

※内容については、予定であるため変更する場合があります。

10:30	受付開始
11:00	挨拶
11:05	「相談支援センターの原則と実際」：国立がんセンター
11:35	「各施設での現状について」：3施設からの報告
12:20	(昼食)
13:20	「相談支援センターの課題」 グループ討議
14:50	(休憩)
15:00	「相談支援センターの運営等の意見交換」
16:30	終了挨拶

4 その他

昼食の弁当を予約しない方は、各自で講習会前に昼食の準備をしてください。